

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 12日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県宇陀市榛原萩原815番地

氏 名 宇陀市立病院 宇陀市長 金剛一智

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0745-82-0381

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	宇陀市立病院
事業場の所在地	奈良県宇陀市榛原萩原815番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	病床数176床
③ 従業員数	約250名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物発生現場 ↓ 清掃業者が回収し、廃棄物庫（屋外 施錠あり）に保管 ↓ 収集運搬委託業者より搬出 ↓ 処理委託業者より処分

(日本産業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

特別管理産業廃棄物責任者（院長）
 ↓
 廃棄物管理担当課長（情報システム管理課）
 ↓
 廃棄物管理担当者（情報システム管理課）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】		
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物（P C B）
排 出 量	100.59 t	1.275 t
①現状 (これまでに実施した取組)		
②計画 【目標】 特別管理産業廃棄物の種類 排 出 量 (今後実施する予定の取組) 感染管理部と協力し、廃棄物の分別徹底を推進する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各部署予想される廃棄物量に合わせて異なるサイズの容器を設置している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
②計画	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
①現状	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
②計画	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】		
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
自ら埋立処分を行つた特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
自ら埋立処分を行つう特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】		
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物（P C B）
全処理委託量	100.59 t	1.275 t
優良認定処理業者への処理委託量	100.59 t	1.275 t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	100 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 現状維持			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(6年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	100.59	t
(今後実施する予定の取組等)			
※事務処理欄			